

合の育休、産休の対応についての質問があり、理事者からは「臨時職員を配置して対応をしていく」との回答がありました。

平成28年度小中学校大規模改造工事について

平成28年度学校施設環境改善交付金5,067万9,000円の国からの内示を受けて、村岡小学校の給食室にエアコンの設置と、3中学校の校舎及び体育館のトイレの洋式化、床面のドライ化、バリアフリー化を行います。

工事期間は、村岡小学校の給食室エアコンは、平成29年3月末まで、3中学校のトイレは、平成29年8月末までを予定しています。

委員からは、「体育館の空調の設置は無いか」との質問があり理事者からは「今回は、トイレだけに限られている」との回答がありました。

建設産業委員会

■今定例会の審査結果

審査の結果、議案5件についてはすべて可決しました。また陳情1件については不採択としました。

県営農村災害対策整備事業「勝山大用水」地区について

昭和27年より整備された「勝山大用水」は、現在60年余の年数がたち水路

のひび割れ、亀裂が発生している部分があります。

安定的な農業用水、防火等の生活用水の水確保と災害発生時の未然防止を図る目的で改修事業を実施します。事業実施期間は平成29年度から平成34年度の予定です。

大渡から猪野口地係については、一部が既設の工場下を通ることから廃止して新設する計画です。委員会では、新設する場所や延長について確認しました。

勝山市おもてなし商品開発支援事業補助金について

平成29年度に「花月楼」および恐竜博物館前の（仮称）「ジオターミナル」、そして今後予定されている「道の駅」のオープンと新たな物販施設の建設が進んでいることから、来年度からの勝山産品を利用した商品の品揃えを充実するための支援策を予定しているとのこと。平成29、30年度の2カ年、既存の商品開発等の補助事業を包括する形で、外部専門家の指導を受ける経費や企画開発費などの補助対象経費の3分の2以内（上限100万円）を補助することにより、勝山市の商工業の活性化、観光の産業化を図りたいとの事でした。

委員からは、市内事業者が参画、意欲を高める方法についてや情報発信などについて検討するよう意見が出されました。

越前加賀インバウンド推進機構のトップセールスについて

平成28年5月にあわら市、坂井市、勝山市、永平寺町と石川県加賀市の5市町が、各市町の名刺や自然、食などの観光資源を外国人観光客にPRするため、越前加賀インバウンド推進機構を立ち上げました。6万人の外国人観光客を5年以内に20万人に引き上げるのが目標です。今年度の企画として多言語に対応した観光パンフレットの作成などを行いました。また、首長によるトップセールスの第一段として平成29年2月に「香港」でのPRを予定しています。

建設産業委員会視察報告

当委員会では10月19日から21日までの3日間、佐賀県、長崎県方面に行政視察を実施しました。

佐賀県鹿島市では、産業活性化施設「海道しるべ」を訪れ、「地域農業の再生に向けた取組」や「6次産業化・農

商工連携に向けた取り組み」などについて視察を行いました。

佐賀県有田町では、（株）有田まちづくりに公社を訪れ「設立の経緯や自立した運営の財源とな



行政視察（佐賀県鹿島市）

る取り組みや、商工会議所・行政との関わりについて」視察を行いました。また、（株）有田まちづくり公社の方の案内で、有田町内のまちづくりに参画されている窯元を訪問し、今後の有田町のまちづくりに向けたお話しをお聞きしました。

特別委員会

決算特別委員会

本特別委員会は、平成27年度決算について10月13日をはじめこれまで5回にわたり委員会を開き、慎重に審査しました。その審査経過において出された意見は次のとおりです。

・一部法人の大口滞納問題については、その発生から相当の年数が経過している。今後ともいろいろな対策について研究され、収入未済額の縮減に努めるとともに、根本的な対策についても検討されたい。

・公共施設等総合管理のあり方については、人口減少社会に対応し、効率的な運用形態の研究、適切な更新時期を見極めて、予防保全に重点を置いた保全計画、修繕計画などを推進し、適切な維持管理に努められたい。

・官学連携推進事業については、市の行政課題について、教育関係機関と更